

広域処理の最終決着を目指す大阪集会

～ がれき全国広域化破綻と今後 ～

岩手県から見た大阪の受け入れ問題

— 役割を果たさない監査委員と再度の住民監査請求について —

環境ジャーナリスト・青木泰さんと、阪南大学准教授・下地真樹さんを講師に迎え、岩手県や富山県の現状について報告していただき、住民監査の請求内容と「却下理由」の問題点について説明していただきます。私たちの力で、がれきの広域化そのものを完全に終息させましょう。

被災自治体では、多くの方が未だに避難生活や仮設住宅住まいをし、事業再開のめどが立っていない人たちがいます。復興復旧予算は、どれだけあっても足りない状況にあります。そうした中で、その復興復旧予算が、各省庁で被災地とは全く関係のない形で流用されていたことや、震災がれきの受け入れを検討しただけでいくつかの自治体が交付金を受け取るなど、納税者や被災者を裏切るような形で使われていたことが報道で明らかになりました。

がれきの全国広域化政策は、運搬費が過半を占めることから、税金の無駄遣いといえます。岩手県のがれきは、何度も大幅に下方修正され、県内処理で可能なレベルにきています。私たちは、大阪府・市が、必要性の判断や広域化そのものの実態を把握せずに、がれきの受け入れを進めることに対して、住民監査請求をそれぞれ1196名、401名で1月18日に行いましたが、大阪府・市の監査委員は支離滅裂な理由でそれを却下しました。

したがって、最高裁の判例に基づいて、再度の住民監査請求を行い、監査委員にがれきの受け入れという不正で違法な事態に、真正面から向き合うように求めていきます。

会場：エル・おおさか 6階 大会議室 (200名)

大阪市中央区北浜東 3-14

日時：3月27日 19:00 ~ 21:00

(18:30 開場)

【TEL】06-6942-1933

【地下鉄】地下鉄谷町線・京阪電鉄「天満橋」駅から西へ300m

【参加費】500円 印鑑持参 (請求人希望者)

【中継】IWJ大阪 / エンパワメントTV

<講師・青木 泰さんのプロフィール>

和歌山県出身、東京都在住。

民間企業研究所に勤務しながら、長年、ごみ問題について住民運動に関わる。

早期退職後、ごみ処理に関する技術顧問として活躍するとともに、環境ジャーナリストとして一般誌、専門誌に執筆。

3.11以降は、放射性廃棄物の危険性について雑誌・新聞・講演等で情報発信している。

著書に『空気と食べ物の放射能汚染—ナウシカの世界がやってくる』ほか (リサイクル文化社)

主催：住民監査請求人 代表 下地真樹

連絡先：震災復興プロジェクト近畿 (松下)

070-5661-1005 1219nori@gmail.com

ブログ：<http://savechildosaka.blog.fc2.com/>